

マニラ首都圏開発庁長官からのメッセージ

東京で開催された ANMC21 総会（2010 年総会）は、非常に盛り多いものでした。11 の会員都市がアジアの持続的繁栄という共通の目標に向け、緊密な協力を行うという誓いを示した東京宣言に述べられているとおり、アジア地域の持続可能な成長促進のための協調的取り組みにおいて、マニラ首都圏が、首都圏開発庁を通じて重要な役割を果たしていることを誇りに思います。



マニラ首都圏開発庁長官
フランシス・N・トレンティーノ

マニラ首都圏は、確かに、技術や危機管理、感染症対策、スポーツ、文化、舞台芸術における専門知識の共有といった幅広い事業において、アジア近隣諸国からの支援と協力を必要としています。新技術の開発を促し、会員都市だけでなく、さらに重要なこととして民間部門との国境を越えた協力を強化することが欠かせません。現在、アジアの豊かな潜在能力の活用が精力的に進められており、アジア地域は世界経済で極めて重大な役割を担っています。

今年のテーマ「水辺開発による豊かな市民生活の創造」では、文明の根源への本来的な回帰を強調しています。水辺空間は、観光、娯楽、文化、世界の大都市が追い求める環境にやさしい都市開発計画や事業を通じた持続的開発のための豊かな可能性を提供しています。

アジアの指導者たちは、経済成長と急速な都市化に伴い、水質や大気汚染、廃棄物処理その他の都市開発に関連する問題への深刻な懸念が高まっていることから、環境保護の必要性があると認識しています。これらの課題解決のためには、専門知識の交換や経験の共有は、従来の政府間プログラムに限定されるべきではありません。民間部門や市民社会の積極的な関与も含めていくべきです。

ANMC21 の指導者として、私たちは今後とも都市化、気候変動、文化、人材育成など様々な分野において、実務担当者会議での具体的対策の検討、官民協力の推進、成功事例の共有、多面的な協力関係の構築を続けてまいります。